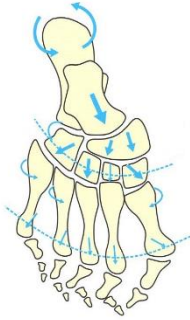


4. 前足部の有痛性疾患

参考. 開帳足

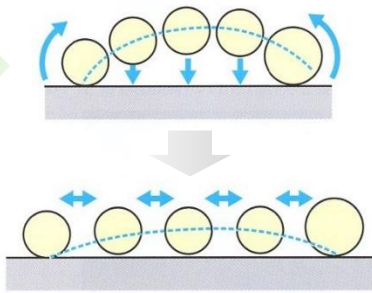
・前足部変形メカニズム



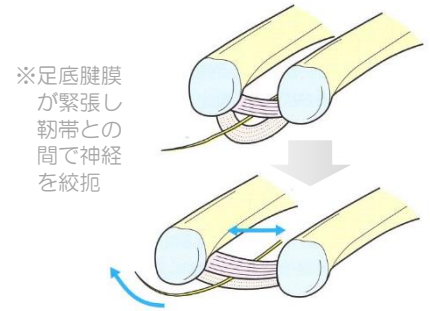
※母趾
中足骨頭
断面図



・横アーチの変化



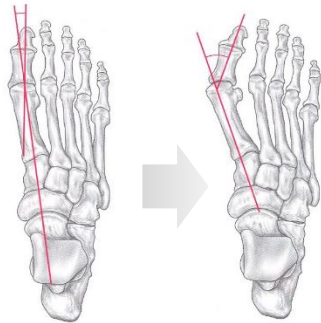
・横アーチ低下による影響



a. 外反母趾

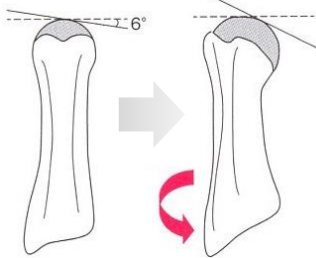
1-概要

●女性に好発、母趾MPの外反変形。つま先の細い靴や内側縦アーチの低下が要因。



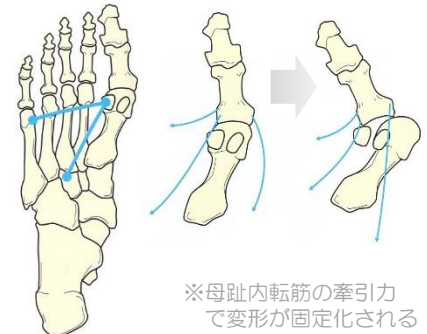
2-なぜ母趾が外反するか？

●第1中足骨の捻転（回内）と関節面傾斜の変化

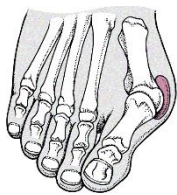


3-筋肉の緊張度合いの変化

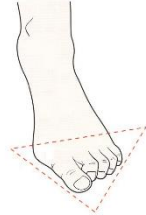
●骨の位置関係の変化で母趾内転筋が緊張



4-パニオン



5-胼胝（たこ）



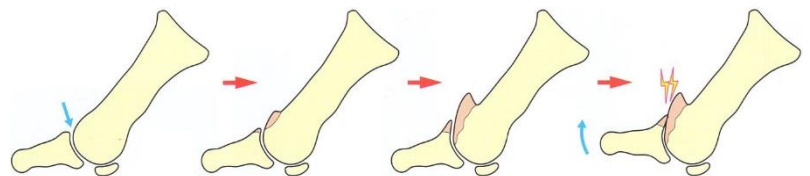
6-治療法



b. 強剛母趾

1-概要

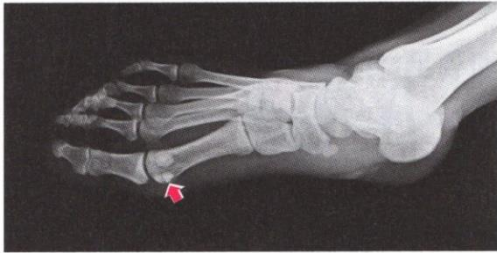
●母趾MPの変形性関節症（OA）MP背側に摩耗や変性が生じ、インピンジメントや骨棘を形成する。
 【症状】 伸展制限/疼痛/腫脹、女性に多い。



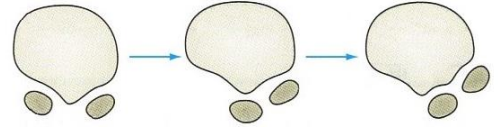
a. 外反母趾	特徴	●好発：→ ●原因：つま先の細い靴や→	●母趾が→ ●関節で外反する変形。が発生要因となる。
	症状	●母趾は母趾内転筋の作用で外反・回内する。 ●2・3中足骨頭に一致→	※高度な変形は観血療法。 ●骨頭の内側突出に伴う→
b. 強剛母趾	特徴	●第1MP関節の変形性関節症。	●中年以降の女性に多い。
	症状	●疼痛や腫脹 ●→ 制限。	●第1MPの→ に→ を形成

c. 種子骨障害

1-概要 ●母趾MP種子骨に圧痛/加重痛/運動時痛などを認める疾患。運動時の反復刺激で発生、疲労骨折や過剰骨の存在もある。



※母趾中足骨の回内により
種子骨の位置/地面への接触点が変わる。



d. 第2ケラー病 (フライバーグ病)

1-概要 ●第2/3中足骨頭の骨端症。思春期女性に好発。X線像で骨頭の圧潰、背屈痛や歩行痛が特徴。年長者ほど予後が不良。

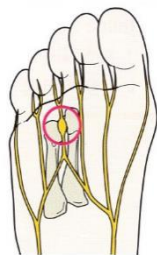
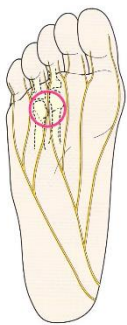


※足部骨端症のまとめ

- ・セーバー病
- ・第1ケラー病
- ・第2ケラー病 (フライバーグ病)

e. モートン病 (モートン神経腫)

1-概要 ●女性に好発する第3/4中足骨頭間に生じる絞扼性神経障害。

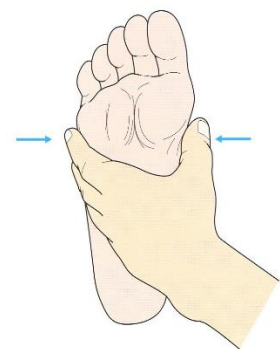


※神経支配 ※チネル徴候部位

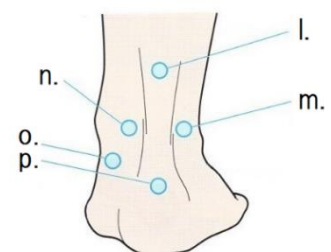
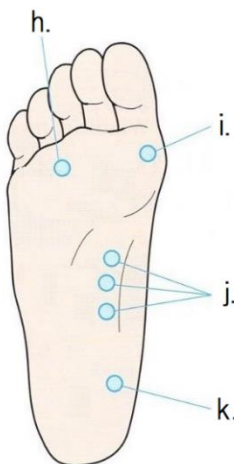
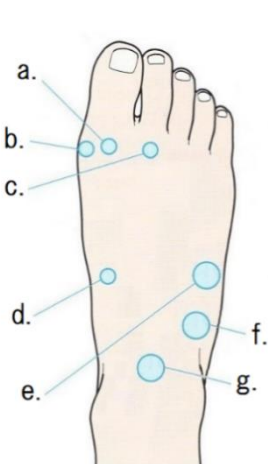


※繰り返しの絞扼ストレスで、
偽性神経腫 (Morton 神経腫) を形成

“疼痛の誘発法”



※疼痛 (圧痛) 部位からみた足部疾患



ご清聴ありがとうございました (^_^) /

第27回 確認問題

問題1 外反母趾で誤りはどれか。

1. 女性に多い
2. 中足骨頭の内側にバニオンを生じる
3. 第2中足骨頭の底部に胼胝を生じる
4. 母趾外転筋の作用で外反・回内する

問題2 強剛母趾で誤りはどれか。

1. 中年以降の高齢者に多い
2. 第1 MP 内側の変形性関節症である
3. 骨性の隆起を生じる
4. 背屈制限が生じる

問題3 種子骨障害で誤りはどれか

1. 第1中足骨頭に存在する
2. 外側種子骨が障害されやすい
3. 母趾内転筋、外転筋が起始する
4. 発育性の障害も生じる

問題4 第2ケーラー病で誤りはどれか。

1. 思春期の女子に多い
2. 第2、3中足骨頭の骨端症である
3. 横アーチを高める足底板が有効
4. 変形性関節症による骨棘である

問題5 モートン病で誤りはどれか。

1. 内側・外側の足底神経に絞扼が生じる
2. 神経鞘の肥厚により腫瘤を生じる
3. 若い女性から中年女性に生じる
4. 第2・3中足骨頭間に生じる

※参考	a 外反母趾	好発→女性 母趾が→MP 原因→内側縦アーチの低下 症状→胼胝 →バニオン
	b 強剛母趾	症状→背屈 MP →背側 →骨棘
	まとめ	a. 強剛母趾 b. 外反母趾 c. 第2ケーラー病 (フライバーグ病) d. 第1ケーラー病 / 有痛性外脛骨 e. ※腓骨筋付着部炎 / 下駄骨折 f. 足根洞症候群 g. 衝突性外骨腫 h. モートン病 i. 種子骨障害 j. 足底筋膜炎 k. 踵骨棘 l. アキレス腱断裂 / アキレス腱周囲炎 m. 腓骨筋腱脱臼 n. 有痛性三角骨障害 / 長母趾屈筋腱炎 o. 足根管症候群 p. セーバー病 / アキレス腱滑液包炎

ナー9 脚脚
 ナーヤ 脚脚
 ナーE 脚脚
 ナー乙 脚脚
 ナー1 脚脚